

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和4年4月19日（火）

2 調査対象 第6学年児童55名

3 調査内容

（1）教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

（2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

（1）教科に関する調査

国語は、全国平均を上回っていました。
算数は、全国平均を上回っていました。
理科は、全国平均を上回っていました。

（2）児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

課題が見られた項目

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
- 新聞を読んでいますか。

5 学力向上の取組

今回の調査結果では、「データの活用」に関する問題に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 表やグラフ等を活用して自分の考えを書いたり話したりする授業を行います。
- ・ 日常生活と学習内容のつながりを意識した授業を行います。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

- ・ ディスプレイ（携帯電話・スマートフォン・コンピュータ・テレビ・ゲーム機など）を見る時間の再確認と家庭学習スタンダードをもとにした家庭学習の習慣化

○読書について

- ・ 家族そろっての読書や新聞を読むことの習慣化